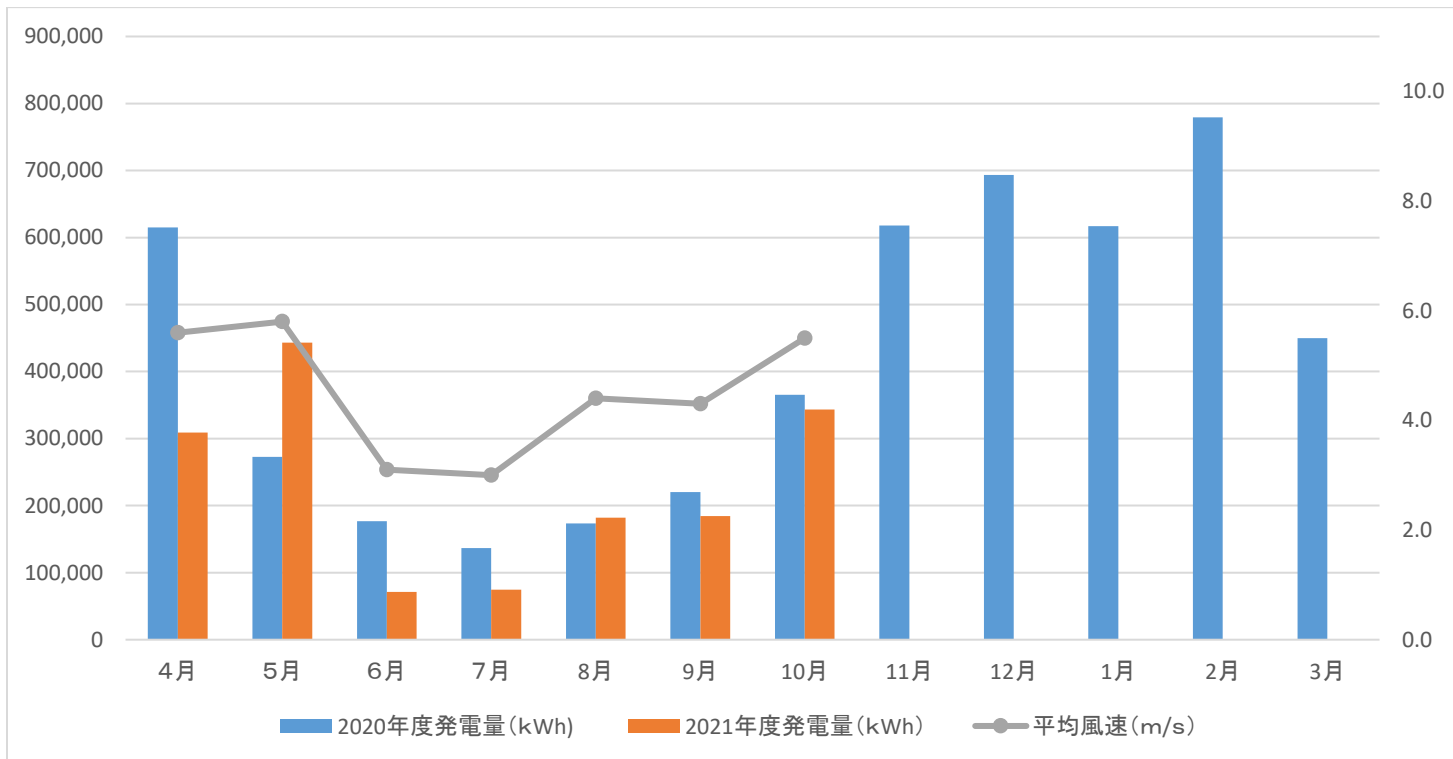


秋田県にかほ市に生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉が建設した生活クラブ風車「夢風」に関するニュースをお届けします。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-6-9 大内ビル3F 一般社団法人グリーンファンド秋田

発行責任者 半澤彰浩(代表理事) 編集責任者 鈴木伸予

○ 2021年度発電実績



9、10月度運転状況について

○平均風速は前年に比べ、9月は0.5m/s、10月は0.3m/s 低い実績でした。

○9月、10月で5日間、9.5年次点検を実施しました。



鳥海山の紅葉の見ごろは9月末から10月半ばまでです。
写真は、にかほ市側の鉾立山荘からの紅葉です。鉾立山荘までは、車で象潟ICより30分。

	発電量 (kWh)	平均風速 (m/s)	稼働率 (%)
4月	309,276	5.6	92.4
5月	443,029	5.8	98.0
6月	71,255	3.1	99.0
7月	74,604	3.0	90.4
8月	182,051	4.4	62.5
9月	184,228	4.3	96.4
10月	343,577	5.5	97.1
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

【お詫び】10月の夢風ニュースの発行が遅くなり、11月と合わせての発行とさせていただきます。

グリーンファンド秋田理事会報告

11月9日、2021年度第3回理事会を開催しました。

主な議案は、上半期決算の承認、仮)生活クラブにかほ院内風力発電の住民説明会実施報告、事務局リーダー研修開催報告、増速機交換工事の遅れについて、などです。

2021年度上半期の売電売上は計画比91.5%の実績でした。4月～9月までの風況が低かった事が要因です。

生活クラブ事務局リーダー研修を実施しました

10月22～23日に生活クラブ首都圏の事務局リーダー研修を実施しました。参加者は東京、神奈川、埼玉、千葉の事務局10人と、遊佐町共同開発米部会事務局長の池田さんが同行されました。

初日の10/22は、まず、生活クラブ風車「夢風」の見学を行いました。にかほ市まちづくり推進課の高橋潔さんよりご挨拶を頂きました。それから、風車の保守点検を委託している(株)市民風力発電の渡邊剛士さん、高橋誠司さんに風車の概要説明を頂き、タワー内部と変圧室の見学をおこないました。その後、参加者を代表して東京の田村篤実さんが高さ80mのナセルに昇る体験をしました。風の弱い日で、最初と止まっていた風車でしたが、見学中に回り始め、羽の音を聞くことができました。



渡邊さんに、タワー内で説明を受ける参加者



ナセルの上から顔を出す田村さん

つづいて、ホテルエクセルキクスイにて研修を行いました。まず、風車の建つ芹田自治会の竹花勲自治会長にお越しいただき、ご挨拶を頂きました。

第一部、半澤彰浩専務理事を講師に、夢風を縁としたにかほ市との取り組みと生活クラブでんきについての学習会を行いました。

第二部、生活クラブでんきの事務局活動の共有を参加者からの事前レポートに基づいて行いました。各単協の活動に対し、活発な質疑が行われました。



学習会の様子



翌日 10/23 は、まず、(仮)生活クラブにかほ院内風力発電の建設予定地を見学しました。建設場所は、にかほ高原に向かう中腹にあり、2016年11月から風況観測を実施しています。

次に、夢風ブランド開発生産者の伊藤製麺所の工場見学を行いました。タラーメンの製造工程や、生活クラブとのかかわりや昨年秋のタラーメンスープのリニューアルについて、代表の伊藤実さんより、お話を頂きました。小さな工場なので、工夫しながら、乾麺、生麺、茹で麺を家族で製造しているとのこと、丁寧な仕事ぶりが伝わりました。

午後からは、山形県遊佐町に移動し、JA 庄内みどり遊佐支店の金子敏課長に同行いただきました。

まず、箕輪鮭孵化場を組合長の佐藤仁さんに案内いただきました。孵化場のある牛渡川の水は鳥海山の伏流水の湧き水で、豊富できれいな水が観光名所にもなっています。次に、カントリーを見学し、今年の米の作況などをお聞きました。

最後に、庄内・遊佐太陽光発電所の見学を行いました。保守管理をしている㈱CSSの菅原善悦さんに発電所の説明を頂きました。31haという広大な土地に、太陽光パネル66,400枚を設置し、年間18,000MWh(約5,700世帯分)の電気を発電しています。発電したでんきは生活クラブエナジーを通じて、首都圏の組合員家庭に供給されています。また、この春から遊佐町の新庁舎にも供給されています。



<写真 前列右端:遊佐町共同開発米部会事務局長 池田恒紀、左から3人目:㈱CSS 菅原善悦、後列右端:JA 庄内みどり遊佐支店営農課長 金子敏、右から4人目:グリーンファンド代表理事/生活クラブ神奈川専務理事 半澤彰浩 >

生活クラブでんきの生産者学習交流会に参加しました

10月13日、さがみ生活クラブ環境サステナブル委員会主催の生活クラブでんきの生産者交流会に、グリーンファンド秋田をでんきの生産者としてお呼び頂き、学習会の講師として鈴木事務局長が参加しました。参加者からのフィードバックシートで、にかほ市・夢風への応援メッセージを頂きましたので紹介させていただきます。

- ・今回の生産者交流会でにかほ市という場所がグッと近い存在に感じました。いつか夢風のあるにかほ市、生活クラブでんきの電力を作ってくれているにかほ市に行ってみたいと思いました。
- ・自然豊かなにかほ市が再生可能エネルギーで地域も豊かになってほしいと思います。今までなじみがなかったけれど、美味しいものがたくさんありますね。電気を使って応援、食べて応援。夢風は環境活動のシンボリック存在です。これからも私たちの夢を伝え続けてください。
- ・にかほ市の皆さんが夢風を大切に思ってくださっているんだなと学習会の映像で感じました。交流を深めていきましょう。
- ・「ただの風車じゃない。発電以上のエネルギーを持つ風車だ。」という言葉に感激しました。
- ・にかほの風車の実績や地域とのかかわり等先進的な取り組みを日本全体に広げていけたら素晴らしいと思いました。
- ・いつもにかほの資源を使わせて頂き、ありがとうございます。これからも夢風ともどもよろしく願いいたします。更なるにかほの活力になるような交流を継続していけたらと思います。夢風ブランドが増えていくことを楽しみにしています。

「きりたんぼ」の原料を芹田営農組合のお米に切替えました

生活クラブで取り組む(株)秋田ニューバイオファームの「きりたんぼ」の原料米が、にかほ市芹田営農組合の「ひとめぼれ」に切替わります。

風車「夢風」の建つ芹田地区の芹田営農組合とは、加工用トマトの実験栽培を通じた組合員との交流や地域の婦人会でケチャップづくりなど地域の活性化を進めてきました。しかし、地域の高齢化による人手不足から、トマトの栽培は中断していました。

今回、「きりたんぼ」の原料米という形で、芹田営農組合との新たな取り組みをすすめます。

デポーは11月、班個配は、12月2回申し込みが初回となります。

是非、お試してください。

リニューアル! ^{せりだ}にかほ市芹田地区のお米でつくりました

炊き上げたお米を七分づきにつぶし、串に巻いて焼き上げた人気の秋田名物「きりたんぼ」。今回、原料米がにかほ市芹田地区産のお米「ひとめぼれ」100%に切替わりました。この機会にぜひ。

芹田産米 100% 香ばしく煮崩れしにくい

754 ぎりたんぼ 3本入り 210g 280 (税込302円) 製造元: 秋田ニューバイオファーム

おうちにある食材だけでかんたん! 「きりたんぼ鍋」

※スープはついていませんので、お好みの味付けでお召し上がりください。生活クラブの「とりがらスープ」や「鮭しょうゆ」もおおすすめです。



芹田産のお米で深まる絆。さらに次の世代へ

にかほ市芹田地区 営農組合長 ^{えんどうゆたか} 遠藤 豊さん

今回、きりたんぼの原料米がにかほ市の芹田地区産に切り替わり、風車建設から築いてきた私たちと皆さんとのつながりがまた一歩進みました。この関係が、さらに次の世代へと続いていくことを期待しています。

ぜひ、新しくなったきりたんぼを食べてみてください。



2019年7月、組合員とにかほ市の方々交流を深めました

にかほ市芹田ってどんなところ?

2012年、生活クラブが出資した風車「夢風」が建設され、以来組合員との交流を重ねています。とりわけ芹田営農組合とは加工用トマトの実験栽培にチャレンジするなど、さらなる提携を模索してきました。

